

斜里町の水田耕作

日置 順正

099-41 斜里郡斜里町朱円中

1. 斜里町の水田耕作の始まり

斜里町での水田耕作の歴史は古い。明治10年、朱円西区に入地した岩手県人鈴木養太が、同29年に役場から「札幌赤毛」の種子を貰い、五畝歩つ二ケ年作ったのはじまる（斜里町史 昭和30年）。

孫にあたる故鈴木直三郎氏によると、現在の朱円西区の吉田三郎氏住宅付近で、一帯が平坦な土地であるため、近くを流れる小川からの導水灌漑は難しく、止むなく良い上土をスコップづつ、放ね除いて灌漑したが、土質が悪化したので出来は薰しくなく二ケ年で中止したという。おそらくこれが網走管内における水田耕作の始まりといわれている。

同じく斜里町史によれば、明治41年には以久科北区の加藤磯次郎が小川の水を朝夕バケツで汲みあげ、自家製の丸太樋で水を流して稲作りにいどんだとある。

大正3年から北海道の農村は欧州大戦の影響による豆類、澱粉などの狂乱物価が到来し、農家は寒地に不向きな作物とされている米作りなどに振り向く考えも湧かなかったようだ。

しかし、中にはやはり米作りに執念を持つ人もいて、大正7年になると朱円西区の佐藤卯吉が住宅前の小川の水を使い、十勝の兄から送られた種子で作り始めたし、以久科南へ入地した宝田甚蔵も、米作りの魅力を捨てきれず、かつて住いた当麻村での経験を生かして耕作を始めた。

とくに小作地へ入地した者も少なくなかったが、そのほとんどは町内の高台地区から風害のために畑作を断念した者たちの移動者といってよい。

2. 水田が急速に拡大した背景

(1) 高台地区の播種期風害の影響

ちょうどこの頃、この地方は高温の周期に入り、町内の高台地方は土が乾き過ぎ、毎年吹き荒れる春先の南風はことのほか強く、雑穀の種子は播いては飛ばされ、播いては飛ばされ、この繰り返し

を三回もして遂に播く種子が無くなった例さえもあった。ところが、当時の充分な排水事業の行き届いていない町内の広大な湿地帯で米が獲れるという朗報が伝わり、風害で行き場がなくて困り果てていた高台地区の農家は、新天地を迎えるような期待をもって魅力に満ちた低地帯を指して移動が始まったのである。

(2) 農民としての米作りの念願

もともと、その頃の北海道への移住者は、故郷の本州では耕作環境や小作条件などに恵まれなかった人が多く、地方によっては貴重な米を「菩薩」とまでいって大事にしていたくらいで、これらの人々の心底には百姓である限り米を作りたいという執念は絶えることがなく、広大な北海道で自分の力一杯の米作りが出来るとなると、今迄の春の風害や、青えん豆の夜盗虫による全滅、さらに澱粉工場の景気の後追いなどの連続で痛めつけられてきた苦悩も忘れ、今度こそ悲願が達成できると胸を膨らませたに違いない。

(3) 草原地帯の水田開発

その頃の斜里市街から中斜里に至る広い草原地帯はひどい低湿地で、ほとんどが三井農林の所有地であった。

この荒涼とした低湿地帯を水田にするには、春先に枯草の野焼きをして無数の谷地坊子の株をとり除き、二頭曳きの長羽根プラオで大区画を耕起しするところから始めなければならなかった。この大区画から測って畦を作り、水を張って土をやわらげ代かきをしてタコ足播種器で直播をするやり方だった。

土地自体が初めての水田利用であるため、畦の両側は盛土に使われた分だけ深くなり、播種の出来ない部分も少なくなかった。また、新地の開田であるため、強い風の吹く日は多量の草の根などの塵芥が風下に集まり、この除去に多くの労力が必要であった。

そのようなやり方でも天候に恵まれた年は反当

四俵位獲れたので、農民は皆米作りに明るい希望が持てる気候の訪れを喜び、凶作を一回位受けても次の年への期待をかけ、自然の川水を利用出来る人たちは率先して水田作りに取組んだのである。

朱円中区では橋田富次郎が澱粉工場の水車のためにオクシベツ川より導水した水路を利用したのを始め、下手の山田岩次郎、可児徳三郎、小池吉松、片山宇之助らも大正13年から始め、終りも関係の土功組合員より三年遅くまで作っている。

幾品川水系でも同様の推移がみられた。また、市街地の元木善蔵は、現在の高校の敷地で大正9年頃からサラバ川の水をポンプで汲み上げて水田を作った。中斜里基線の高野竹次郎は大正12年から、付近の農家も大正13年には米作りを始めている。

このように、自然の川水を利用する一方、それに呼応するかのように更に広大な面積を対象とした灌漑溝造成事業が着々と進んでいった。

3. 土功組合

(1) 赤上土功組合

朱円西区の西村楠松の献身的な努力によって、町内ではじめて設立された土功組合である。

幹線取水口はオクシベツ川の東二線の東、五号寄りの辺に設けられ、西区と中区の両幹線に分水する頑強な施設が造られた。第一幹線は西区へ途中二本に分れ、第二幹線は中区オクシベツ川右岸地区に、主としていづれも三号道路以北の地域に灌水した。

幹線工事は大正15年5月竣工、支線工事は大正14年12月竣工、組合員33名、面積168町で出発した。

赤上土功組合の正式な解散期日を明かにすることはできないが、連続する凶作は水田農家を塗炭の苦しみにおとし入れ、その窮状は筆舌に尽くしがたい惨めさであった。

その救済策として税の減免、食糧にする政府米の貸付、救農事業の実施、欠食児童の給食など種々の対策がとられたが深い傷を癒すには遠く及ばなかった。

そのため、斜里における農村経済は極度にひっばくし、なかでも赤上土功組合に所属する朱円西区第1(現中区)の両組合員の負債整理額はそれぞれ村内総整理額の1割にも達し、昭和11年に実施された農漁村負債整理事業の特別融資を受けて条件緩和に務め、のちには産業組合が別途長期低利融資に借り替えるなどしてこの整理事業を終えた。

(2) 斜里土功組合

斜里、上斜里両原野を灌漑対象地区とし、九号を境に南を第一期、北を第二期工事とに分け、第一期工事幹線は昭和5年10月、同支線工事は昭和5年5月竣工、第二期幹線は昭和7年3月、支線工事は7年5月に竣工しているが、作付年次を見ると、川上地区では9号の北の農家も第一期工事に参加していたらしい。

しかし、両工事共完成した時はすでに遅く、昭和6年からの凶作期に突入し播種後に捨てられた種籾が排水溝の中で立派な穂をつけたほどの夢のような豊作は、昭和8年の一回だけのことであった。

したがって、組合員は多額の負債を抱えることになったが、状況は赤上土功組合とまったく同じであったと考えられる。

(3) 以久科の水利組合

以久科土功組合は昭和5年7月に設立の許可が与えられているが、内部的な事情で意見調整が出来ず、ついに許可の取り消しを受け、設立に至らなかったが、このことは結果的に莫大な工事費の負担を避けられたことになった。

しかし、あの広大な以久科地区の水田を灌漑することは大事業で、土功組合は結成されなかったものの、水田作りを諦めなかった人たちにとって、これに代る機能を持つ組織が必要なことは当然で、詳しい事情は不明であるが、自主的な水利組合が設立されたと聞いている。

また、幾品川の水だけでは足りないため、近くの秋の川の水も殆ど使ったようである。

(4) その他の水利利用

小河川を使つての米作りと用水問題は気象条件に頼るため、それとの因果関係は厳しく日照高温は豊作の必須条件であったが、ところが逆にそのような年は川水が極度に渇水するため、用水不足は常に農家の悩みであった。

とくに、幾品川の水を使う豊倉(旧清水牧場)、以久科北区の末端地域、さらにサラバ川水系の末端地域、広大な豊倉、文光町(旧猿間)の人々は苦勞が多く、排水溝をせき止めて貯水し少ない水を分けあって使用したといわれている。

また、斜里川右岸沿いの現国道南地区の人々は、斜里川に樋をかけ、向い側の美咲地区の農家の余り水を貰って使った旨、外川喜代一氏(90才)は語っておられた。

4. 水田づくりにまつわるエピソード

朱田中区から西区へ通い作した人によれば、「畑の土が幾度も飛ばされてろくな収穫が見込めなくなり、西区のオクシベツ川沿いの葦原を借りて大勢の子供を抱え、夫婦二人で造田に取り組んだ。

現場に有り合わせの材料で小さい堀建小屋を建て、学校へ行かない小さい残り三人の子供を遊ばせていた。毎日薄暗くなるまで遮二無二の働き通しだったが、ある日帰ろうと思って小屋へ来てみたら中の子が一人足りない。さあ大変、二人とも半狂いになって、呼んだり葦をかき分け探し回ったが段々暗くなる。どうか生きてくれよと念じながら懸命になって探し当てたが、子供は憐れにも歩き疲れ果てての倒れ眠りだった。

親として心の中で子供に詫言ると共に、二度とこんなことは為すまいと我にかたく誓った。」という。

5. 水田耕作最盛期の頃

(1) 作付反別と収量

町内の米作の記録は表-1にあるように、大正12年から昭和5年までの8年間で、収穫が皆無の凶作は大正15年の一回だけで、とくに昭和2年から5年までの4年間は、年によって反収の差は多少はあるものの、水田耕作の希望と魅力をもたせるのに十分なものであった。

その将来性についての期待は農家ばかりでなく堅実経営商法で尊敬を集めていた島戸狩（現峰浜）のある商店主が、水田農業地帯の発展に夢を

表-1 水田の作付状況

年	面積	収量高	金額	石/町
大正12年	171町	1,573石	34,719円	9石
13年	236町	3,625石	100,000円	15石
14年	497町	8,254石	237,000円	16石
昭和元年	768町	0石	不詳	0石
2年	960町	17,895石	〃	18石
3年	1,332町	18,710石	〃	14石
4年	1,518町	12,581石	〃	8石
5年	1,892町	26,493石	〃	14石
6年	2,488町	882石	〃	0石
7年	2,753町	0石	〃	0石
8年	2,153町	35,961石	610,000円	16石
9年	2,058町	0石	不詳	0石
10年	1,804町	0石	〃	0石
11年	274町	3,183石	〃	11石
12年	294町	4,527石	〃	15石
13年	289町	8,214石	〃	28石
14年	191町	不詳	〃	〃

※村勢一斑（1925）、斜里村勢要覧（1935・1936）
斜里農協史（1967）による。

かけ、朱田西区の中心地に当時としてはじつに豪壮な店舗の支店を出すほどであった。

そのようなことから、黄色く実った穂波の果てしなく続く町内の先進耕作地では、純日本式の農村風景が感ぜられ、自ずと村芝居などの催し物が連年行われ、老いも若きもその雰囲気に入る喜びであった。

(2) 米の値段

北限の地斜里で米が穫れるくらいの年は、おそらく道内のどの米作地も豊作型で、収穫が多いときは値段が下落するのは当然のことであった。

当時の値段についてある農家の話によれば、昭和8年の豊作の年は、一俵4円50銭から5円位であったという。

また、昭和5年は普通作の年であったが、暮れの押し迫ったときの街で、臭早生米が33俵でわずかに100円の値段であったという話もあった。

したがって、水田農家の場合自作農であれば土功組合費の年賦償還金があるし、小作農であれば小作料の支払いがあるなど、決して「かまど」は楽ではなかったようだ。

昭和の初期は、時の政府の経済政策の故も重なって、日本経済は銀行の大恐慌に入るなど不景気が続き、他の農産物価も安く生産者にとっては困難な時期であった。

(3) 販路と消費形態

そのころの農家は産業組合に加入して宮農を続けたが、秋の収穫物は当然組合に出荷するのが原則だった。今日のように食管法による政府買い上げの保護政策などもなく、組合も農家も米の販路には苦心したようだ。とくに斜里産米の類は他の地方の米と比較した場合、品質の改良に一層の研究努力が要求され、十分な競争力をもつものではなかった。しかも、出荷時期の価格下落を防ぐために道内の産業組合はそれぞれ籾の貯蔵手段を講じて調整を図るなどしていたため、斜里産の米が這入る隙きはなかなか得られなかったようである。

このような状況の中で、米作農家では米を主食にかえられ、市街地でもこの時期に至って消費が伸び、一般畑作農家も自場産のため入手は容易だったが、前記不景気の最中で仲々地元農村全体での消費は期待する程でなかったようだ。

6. 凶作のおとずれ

(1) 惨に終わった斜里の田んぼ作り

大正15年の凶作時は、町内の水田耕作面積も最盛期の約三分の一位であったし、当初の八ヶ年の間は一回だけであったが、昭和6、7、9、10年の連続凶作は水田農家を精神的にも経済的にも徹底的に叩きつけた。来る年も来る年も一生懸命働いて一粒の米も、一銭の金も得られないその惨さは本当に憐なことであった。

とくに、大家族を抱えた者の苦悩は国や町（当時村）の適切な救済策があっても到底癒すことは出来なかったようだ。

村では水田農家の救済策として、斜里川と幾品川の downstream 地域を除いて河床が高くなるくらい豊富にあったバラス（砂利）に着目し、罹災農家の救済土木事業として冬期間馬糞によるバラス揚げが毎年大々的に行われた。そのため、泥炭地帯の斜里の道路は著しく改良された。

(2) 凶作のエピソード

当時のことをよく知る以久科南の古米吉夫氏によれば「何とかして今年は稔ってくれるようにと、朝から晩まで水田に案山子の様に立って祈り続けたが残念ながら駄目だった。大勢の家族を抱え、途方に暮れる毎日だった。今でもその水田作りの話になると、身の毛がよだつくらいの辛い思い出だった」という。

7. 畑作への転換

連年の凶作で町内の水田地帯は、昭和9、10年頃にはほとんど姿を消した。しかし、畑に還元したものの極度の酸性化と、泥質化のため土壌条件が悪化し、これまた、地力の快復には並々ならぬ努力が続けられた。そして安全作物である馬鈴薯耕作に拍車がかかり、澱粉工場新設の槌音が各所に響き渡り、町内でもこの時期に実に31の工場が誕生した（澱粉生産史については拙稿「斜里町における澱粉工場の推移」斜里町郷土研究11、1989を参照されたい）。

8. 最後の水田

大正時代からの耕作者のうち、朱円では橋田富次郎他4人が自家用として13年まで作ったが、中でも可児徳三郎は昭和17年まで続けた。以久科南区では午来義蔵、山中富蔵、中島亀次郎の3人が秋の川の午来の所有田で昭和23年～25年まで頑張り続け、よく獲れた年で反当8俵の時もあった。

また、美咲の秋山伝四郎はポンプ揚水で昭和12年まで、市街地の元木善蔵の子息進は現在の高校所在地で大正9年頃から昭和22年まで耕作した。

さらに、戦後になっても以久科北の新川常夫が自家用として自宅付近で昭和17年から21年までポンプで揚水し五反歩ほど作付けた。同北区の佐山久治も戦後昭和23年から27年まで、アッカベツ川の水を使って自家用として五反歩耕作している。

斜里町最後の水田耕作者である朱円東の滝田芳弘は自家用として三反歩ほどを昭和21年から10年余り耕作し、よく獲れた年は、お祝いと喜びとで、その米を自分の水車による精米臼で精白し、正月用として近隣へ配ったそうである。

9. おわりに

本文は知床博物館の委託を受けて調査したものである。また、これに関する文献が乏しいため、ほとんどは古老による聞き取り調査によった。

それだけに現在ではまったく見ることでできない斜里町の水田耕作が、かつては農民にとって大変な期待と苦勞とによって行われていたことが調査の過程で聞くことができた。

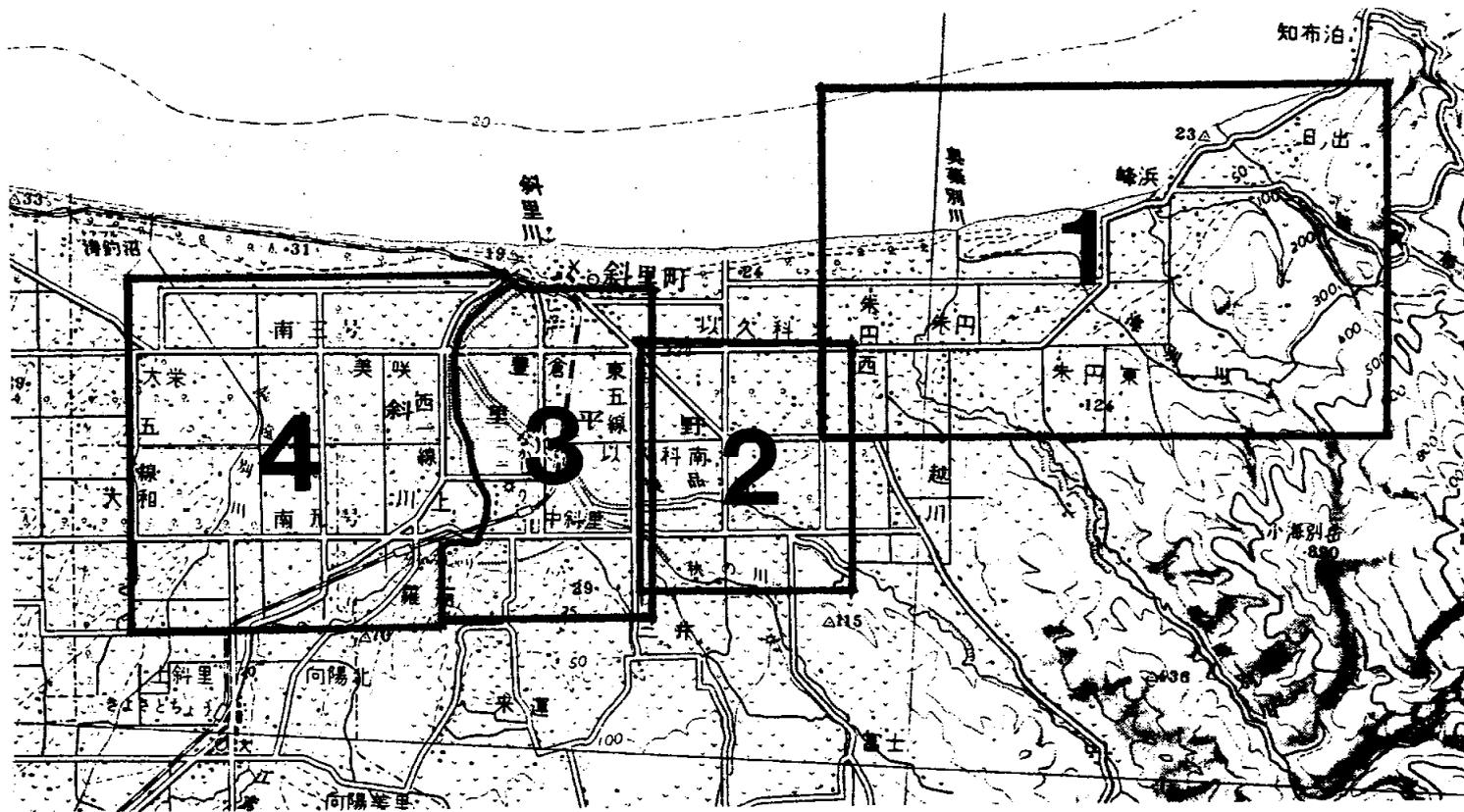
この間、多くの方に御協力をいただいたが、文中では氏名をあげていない。別表中の証言者名がそれである。心から御礼を申し上げたい。

御協力をいただいた方々の中には、すでに故人となられた方もおられ、このような調査を行う最後の機会であったと思う。

いずれにしても、斜里町の農業史の中における水田耕作はとくに、農民の心情、気候条件、そして、時の政治経済事情などの影響をまともに蒙った一例であるということができそうである。単に水田耕作が気候に合わない作物であったことによる失敗と結論付けるのは早計であろう。

今もまた、斜里の農業は非常に厳しい状況に直面している。今後の農業経営についても常にこのような事例は有り得ると想定しなければならない。

過去の一例として今後の斜里農業を考える一助となれば幸いである。



图—1 地区別位置图

1. 峰浜・朱田地区
2. 以久科地区
3. 豊倉・中斜里・西以久科地区
4. 美咲・川上・大栄地区

表-2 峰浜・朱円地区水田耕作者一覧

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
1	日の出	佐藤 浅治	東14線東・北3-4号間	昭3~5年	反1	佐藤 広作	佐藤 浅治	ホロトマリ川
2	峰 浜	佐藤勲三郎	東10線東・北1号南	昭17~18	2	佐藤 忠雄	佐藤勲三郎	シマトカリ川
3	"	藤盛 金吉	東10線東0-北1号間	昭3~5	5	藤盛 憲蔵	藤盛 金吉	"
4	"	一の沢定吉	東14線東4号南	"	2	坂上 ナミ	一の沢定吉	ウナベツ川
5	朱円東	小池猪之助	東7線西0号北	昭2~7	38	北見市 小池大三人 市 街 丹野ヨシエ	網走市 久田 某	"
6	"	宮内宥五郎	東6線西1号北	昭2~5	20	宮内 武	宮内宥五郎	"
7	"	河田 辰治	東5線東1~川 中間	"	15	河田 辰巳	河田 辰治	"
8	朱 円	"	東4線東ウナベツ川沿い	"	12	"	"	"
9	"	片山宇之助	東3線東1号北	大昭13~13	10	羽田野北雄 山田 誠一 佐藤 末広	小池 吉松	オクシベツ川土功組合
10	"	小池 吉松	東3線東1号南	"	40	"	"	"
11	"	可児徳三郎	東3線東1-2号間	大昭13~17	30	"	可児徳三郎	"
12	"	山田岩次郎	東3線東2号北	昭2~9	12	山田 誠一	山田岩次郎	"
13	"	橋田富次郎	東3線西2号南・北	大昭13~13	50	羽田野北雄 山田 誠一 佐藤 末広	橋田富次郎	"
14	"	石川 小平	東3線西中3号北	昭2~9	10	"	石川 小平	赤上土功組合
15	"	羽田野耕三	東2線東中3号北	"	20	"	羽田野耕三	"
16	"	佐藤 文吉	東2線東中3号南	"	30	"	元木 善蔵	"
17	"	佐藤初右エ門	東3線東3号南	"	30	"	川田喜四郎	"
18	朱円東	滝田 芳弘	東5線東5号南	昭21~33	3	菊池 幸治	滝田作太郎	オクシベツ川
19	朱 円	羽田野権次郎	東3線東1号南・北	昭2~9	20	日置 順正	西村 楠松	赤上土功組合
20	"	船木 仁助	東3線西0-1号間	大昭7~9	30	午来 陽 山田 卓二	石川 芳次	"
21	"	黒川 太市	東3線西1号北	昭2~9	20	日置 順正	網走市 新谷	"
22	"	公平 林治	東2線東0-1号間	"	35	午来 陽 山田 卓二	石川 芳次	"
23	"	堀田喜一郎	東2線東1号北	"	30	"	釧路市 藤原	"
24	"	西村 楠松	東3線西1号南	"	45	"	西村 楠松	"
25	"	小鹿	東3線西1-2号間	"	40	山田 誠一	小鹿	"
26	"	津田 藤蔵	東3線西	"	10	津田 国雄	大野 治助	"
27	"	森田 徳治	東2線東1号南	"	30	森田若之助 佐藤 キミ	"	"
28	"	日置 仙助	東2線東1-2号間	昭3~5	5	日置 順正	"	オクシベツ川
29	"	阿部金三郎	東2線東1号南	昭2~9	10	"	"	赤上土功組合
30	"	加納 幸助 金村久三郎 弦間 義雄	東2線東1-2号間	"	加納25 金村15 弦間10	森田若之助 吉岡 岩男	弦間 義雄	"
31	"	佐藤 美鶴	東2線東2号北	"	30	森田若之助 佐藤 キミ	大野 治助	"
32	"	菱川浅五郎	東2線東2号北	"	10	菱川 利美 午来 陽	"	"
33	"	加藤 兼松	東2線東2号南	"	30	佐藤 末広 午来 陽	加藤 兼松	"
34	"	西村 楠松	東2線東3号北	"	20	山田野城 高野 卓二 岩城 モト	西村 楠松	"
35	"	佐藤 保雄	東2線東西アツカンベツ川南	"	20	佐藤 卓二 午来 キミ 陽	佐藤 保雄	"
36	"	午来徳三郎	東2線西0-1号間	"	40	午来 陽	石川 芳次	"
37	"	弦間 義次	東2線西1号北	"	30	"	弦間 義次	"
38	"	吉岡市太郎	"	"	18	吉岡 岩男	"	"
39	"	和賀純太郎	東1線東アツカンベツ川南	"	10	山田野城 高野 卓二 岩城 モト	和賀純太郎	"
40	"	青柳 佐平	東1線東0-1号間	"	30	"	石川 芳次	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
41	朱 円	中村 善七	東1線東0-1号間	昭 2~9年	反 10	山田卓二 高野吉郎 岩城モト	近藤甚右エ門	赤上土功組合
42	"	山田 類一	東1線東1号北	"	30	"	石川 芳次	"
43	"	佐藤 保雄	東3線西1号南	大 7~9	昭 40	佐藤 キミ	佐藤 保雄	"
44	"	森田 徳治	東2線西1-2号間	昭 2~9	13	森田若之助 佐藤キミ	大野 治助	"
45	"	大野 治助	"	"	9	大野 イト	"	"
46	"	弦間 義雄	"	"	20	森田若之助 佐藤キミ	弦間 義雄	"
47	"	平田 徳市	東2線2号南・北	"	40	羽田野北雄・佐藤末広 佐藤 山田卓二 平田 岩城モト	新居 茂平	"
48	"	西村 栄蔵	東1線東1号南	"	10	山田卓二 高野吉郎 岩城モト	川畑喜四郎	"
49	"	岩城松太郎	東1線東1-2号間	"	20	"	岩城松太郎	"
50	"	島田由太郎	"	"	10	"	土橋 伝七	"
51	"	佐々木道之助	東1線東2号北	"	20	"	新居 茂平	"
52	"	土橋 源吉	東1線東2号南	"	30	"	"	"
53	"	長尾与重郎	東2線西3号北	"	10	羽田野北雄・佐藤末広 佐藤 山田卓二	川畑喜四郎	"
54	"	近藤甚右エ門	東1線東中3号北	大 15~8	昭 35	長谷川喜代	近藤甚右エ門	"
55	"	"	"	"	40	"	"	"
56	"	此島金右エ門	東1線東3号北	昭 2~9	15	山田卓二 高野吉郎 岩城モト	"	"
57	"	大友 慶吉	"	"	20	"	大友 慶吉	"
58	"	野村権太郎 古川市松	東1線東3号南	"	7	岩城 モト	永野 酉吉	"
59	"	寺田 国治	東1線西1号北	"	15	山田卓二 高野吉郎 岩城モト	寺田 国治	"
60	"	神谷 直一	東1線西1号南	"	30	"	川畑喜四郎	"
61	"	野田慶次郎	基線1号南	"	20	"	野田慶次郎	"
62	"	坪川 良治	東1線西2号北	"	42	"	坪川 良治	"
63	"	高野吉次郎	基線東2号北	"	22	"	高野吉次郎	"
64	"	大友 慶吉	東1線西2号南	"	20	"	川畑喜四郎	"
65	"	石川 藤作	"	"	20	"	"	"
66	"	吉田 浅吉	東1線西3号北	"	9	"	近藤甚右エ門	"
67	"	小笠原八郎	東1線西3号南	"	12	岩城 モト	永田 酉吉	"
68	"	芳賀 金平	西1線東3号北	"	25	芳賀 フク	芳賀 金平	"

表-3 以久科地区水田耕作者一覧

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
1	以久科北	佐山 久治	西1線東4号北	昭23~27年	5 ^反	佐山 武雄	佐山 久治	アツカンベツ川
2	"	高橋 清作	西1線西5号北	昭12~13	2	高橋 一郎	高橋 清作	アツカンベツ川支流
3	"	上村松太郎	西2線東5号北	昭4~10	30	近藤 明	上村松太郎	幾品川組合未設立
4	"	新川 常夫	西2線西3号南	昭17~21	5	佐山 武雄	新川 常夫	排水溝揚水
5	"	青島 作蔵	西2線西4号南	昭4~10	10	近藤 明	青島 作蔵	幾品川組合未設立
6	"	木下 政吉	西3線東4号南	"	35	"	木下 政吉	"
7	"	細川喜三郎	西2線西5号北	昭2~10	28	"	細川喜三郎	"
8	"	中村仁四郎	西3線東5号北	昭4~10	20	"	中村仁四郎	"
9	"	汲田 四郎	西2線西5号南	"	30	"	汲田 四郎	"
10	"	杉山長次郎	西3線東5号南	"	40	"	杉山長次郎	"
11	"	大西 勇	西2線西6号南・北	"	5	"	大西 勇	"
12	"	近藤茂次郎	西3線4号南・北 西3線西4号南	昭2~10	25	"	近藤 明	"
13	"	及川 多門	西4線東4号南	昭4~10	45	"	及川 多門	"
14	"	寺田与次郎	西3線西5号北	"	25	"	寺田与次郎	"
15	"	鶴見 惣平	西4線東5号北	"	40	"	森野喜三郎	"
16	"	岡崎 浅治	西3線西5号南	昭2~10	10	"	岡崎 浅治	"
17	"	林 仁兵衛	西4線東5号南	昭4~10	40	"	林 仁兵衛	"
18	"	山田助太郎	西3線西5-6号間	"	25	"	山田助太郎	"
19	"	"	西3線西6号北	"	25	"	"	"
20	"	中沢 俊蔵	西4線西4号南	昭2~10	38	"	中沢 俊蔵	"
21	"	上村 富市	西4線西5号北	"	50	"	汲田 四郎	"
22	"	加藤 義信	西5線東5号北	昭4~10	27	"	加藤 義信	"
23	"	林 源基	西4線西5号南	昭2~10	5	"	林 源基	"
24	"	池長悦次郎	西4線西5-6号中間	"	19	"	池長悦次郎	"
25	"	池長松五郎	西5線東5号南	"	67	"	池長松五郎	"
26	"	旭 儀蔵	西5線西3号南	昭4~10	40	稲辺 喜春	神田鉄三郎	幾品川
27	"	江刺忠太郎	西5線中3号南	"	43	"	"	"
28	"	神田鉄三郎	西6線東中3号南	"	45	"	"	"
29	"	稲辺民次郎	西6線東3号南	"	45	"	西念寺	"
30	"	矢光 覚二	西5線西4号北	"	45	"	石田 喜一	"
31	"	渡辺 一三	西6線東4号北	"	43	"	渡辺 一三	"
32	"	石田 喜一	西5線西4号南	"	45	野尻 米市	石田 喜一	"
33	"	井上 茂蔵	西6線東4号南	"	35	"	"	"
34	"	井倉 文蔵	西5線西5号北	"	30	"	井倉 文蔵	"
35	"	稲辺民次郎	西6線西3号南	"	45	稲辺 喜春	大橋 健次	"
36	以久科南	高橋 米治	西4線東6-7号間	昭2~9	45	午米 義蔵 山中 輝夫 古米 吉夫	高橋 米治	"
37	"	中谷 政蔵	西4線東7号北	"	47	"	中谷 政蔵	"
38	"	小俣 重治	西4線東7号南	"	40	"	石川 芳次	"
39	"	酒井 兵蔵	西4線東7-8号間	"	40	"	"	"
40	"	山内 良雄	西4線東8号北	"	18	"	"	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
41	以久科北	泉谷 忠雄	西5線東6号南	昭2~9年	30 ^反	午来 義藏 山中 輝夫 吉米 吉夫	泉谷 忠雄	幾品川
42	以久科南	鶴見与一郎	西4線西6号南	"	30	"	本間丑太郎	"
43	"	泉谷 忠雄	西5線東6号南	"	35	"	泉谷 忠雄	"
44	"	古米 吉夫	西5線西6-7号中南	"	25	"	斜里 町	"
45	"	"	西5線東6-7号間	"	30	"	古米 吉夫	"
46	"	高橋 昌作	西4線西7号北	"	25	"	高橋 昌作	"
47	"	渋谷辰次郎	西4線西7号北	"	25	"	石田 喜市	"
48	"	"	西5線東7号北	"	30	"	石川 芳次	"
49	"	小笠原勘六	西4線西7-8号間	"	30	"	"	"
50	"	"	西5線東7号南	"	30	"	"	"
51	"	高橋菊太郎	西4線西8号北	"	40	"	高橋菊太郎	"
52	"	"	西5線東7-8号間	"	30	田中 博夫	"	"
53	以久科北	滝川徳次郎	西5線西6号北	"	40	"	不明	"
54	"	前川 秀夫	西6線東5号南	"	30	"	前川 秀夫	"
55	"	松田 茂雄	西6線東6号北	"	40	"	村中 徳一	"
56	以久科南	俊正 兵太	西5線西6号南	"	37	吉米 吉夫 午来 義藏 山中 輝夫	福田栄次郎	"
57	"	酒井 兵藏	西6線東6号南	"	20	"	酒井 兵藏	"
58	"	村中 徳一	西6線東6号南	"	20	"	村中 徳一	"
59	"	高橋 春藏	西5線西6-7号間	"	40	"	福田栄次郎	"
60	"	細川 茂七	西6線東6-7号間	"	40	"	細川 茂七	"
61	"	坂田宇三郎	西5線西7号北	"	40	"	福田栄次郎	"
62	"	山中 富藏	西6線東7号北	"	10	"	山中 富藏	"
63	"	飛世 正治	西6線東7号北	"	25	"	"	"
64	"	高橋 春松	西5線西7号南	"	40	"	福田栄次郎	"
65	"	中島亀次郎	西6線東7号南	"	20	"	中島亀次郎	"
66	"	山中 富藏	西5線西7-8号間	"	40	"	堺谷 静夫	"
67	"	中島亀次郎	西6線東7-8号間	"	40	"	中島亀次郎	"
68	"	高橋 春松	西5線西8号北	"	15	"	石川 芳次	"
69	"	宝田 甚藏	西6線東8号北	大昭 7~9	35	"	宝田 甚藏	"
70	以久科北	藤野 泰平	西6線西5号南	昭2~9	30	田中 博夫	不明	"
71	"	田中伊佐太	西6線西6号北	"	40	"	村中 徳一	"
72	以久科南	浦谷 新太	西6線西6号南	"	40	吉米 吉夫 午来 義藏 山中 輝夫	細川 茂七	"
73	"	小路庄次郎	西6線西7号北	"	40	"	渡辺巳之助	"
74	"	佐々木与一郎	西6線西7号南	"	40	"	川田 某	"
75	"	午来 義藏	西6線西8号北	"	40	"	午来 義藏	"
76	秋の川	板橋清二郎	西4線東8号南	"	13	板橋 誠治	板橋清二郎	秋の川
77	"	高橋 菊雄	西5線東8号南	昭6~10	25	橋本 茂	網走 中川家畜商	"
78	"	橋本 石郎	西4線西8-9号間	昭9~10	10	"	橋本 石郎	"
79	"	吉野与三郎	西5線東9号南	昭5~10	30	曾根 秀夫	吉野与三郎	"
80	"	高橋 芳藏	西5線西8号南	"	40	"	高橋 芳藏	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
81	秋の川	午来 貢	西6線東8号南	昭5~10	20反	曾根 秀夫	午来 貢	秋の川
82	"	上村重之助	西5線西8-9号間	"	30	"	上村重之助	"
83	"	石田 喜一	西6線東8-9号間	"	45	"	石田 喜一	"
84	"	午来 住衛	西5線西9号北	"	25	"	午来 住衛	"
85	"	花井龜太郎	西6線東9号北	"	40	"	花井龜太郎	"
86	"	吉川外次郎	西5線西9号南	"	10	"	吉川外次郎	"
87	"	曾根 政吉	"	"	15	"	曾根 政吉	"
88	"	滝川徳次郎	西6線東9号南	"	40	"	滝川徳次郎	"
89	"	吉野与三郎	西5線西9-10号間	"	10	"	吉野与三郎	"
90	"	金田 松男	西6線東9-10号間	"	20	"	金田 松男	" 朱丹 平田正則小作
91	"	曾根 政吉	西6線西8-9号間	"	50	"	堺谷 静夫	"
92	"	丹羽 順一	西6線西9号北	"	20	"	丹羽 順一	"
93	"	菅野小太郎	西6線西9号南	"	20	"	滝川徳次郎	"
94	"	午来 義蔵 山中 高蔵 中島 徳次郎	秋の川の南で10号南 6線西	昭23~25	6	午来 義蔵	午来 義蔵	"

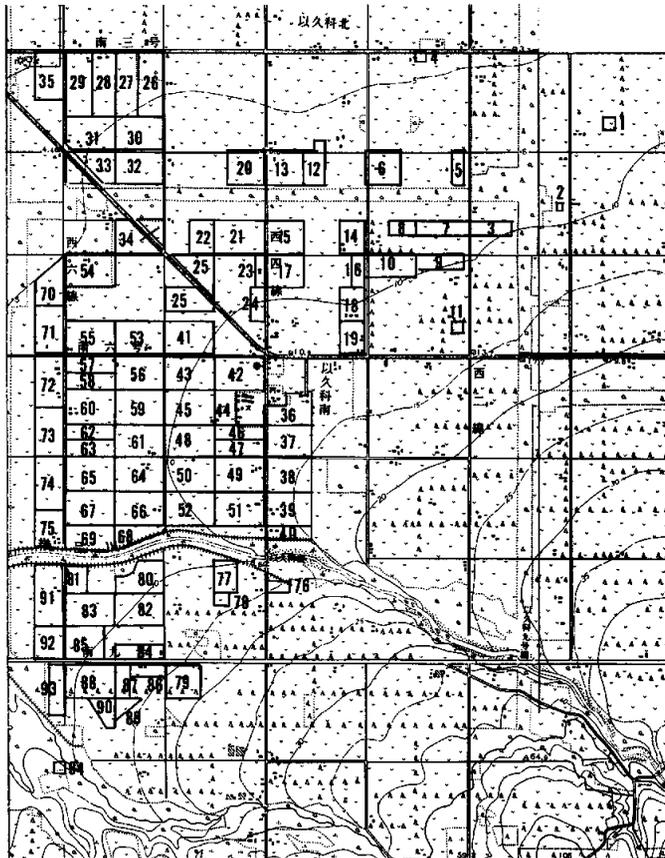


図-3 以久科地区水田分布図

表-4 豊倉・中斜里・西以久科地区水田耕作者一覧

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
1	豊倉・朝日	桜井甲子郎	東5線西2号北	昭6~10	反10	小針すゝ美	不詳	幾品川
2	"	小針 多重	東4線東2号北	"	15	"	羽広 仁吉	"
3	"	沢田 安一	東4線東2号南	"	20	橋本・小針	沢田 安一	"
4	"	橋本 石郎	東4線東3号北	"	25	橋本 茂	清水牧場	"
5	"	"	東4線東3号北中	"	45	"	"	"
6	"	堀内	東5線東3号南	"	30	大木 サア	"	"
7	"	三浦金次郎	東5線東4号北	"	40	"	"	"
8	"	久米 栄	東5線東4号南	"	23	"	"	"
9	"	大木 政治	"	"	23	"	"	"
10	"	高木	東5線東5号北	"	30	"	"	"
11	"	新沼	東5線西3号南	"	25	"	"	"
12	"	高野	東5線西3号南中	"	40	加藤 豊 大木 サア	"	"
13	"	毛利	東4線東中	"	30	"	"	"
14	"	野口新三郎	東4線東3号南	"	40	"	"	"
15	"	平野源三郎 平野コヨノ	東4線東4号北	"	源三郎10 コヨノ30	大木 サア	"	"
16	"	佐々木	東4線東4号南	"	40	"	"	"
17	"	久保 友一	東4線東4-5号間	"	30	"	"	"
18	"	高橋 東吾	東4線東5号北	"	30	"	"	"
19	"	山田 熊吉	斜線西・サラバ東	"	13	山田 信雄	山田 熊吉	"
20	"	"	斜線西・2号北	"	22	"	"	"
21	"	佐藤 才治	東4線西3号北	"	30	石崎富次郎	不詳	"
22	"	佐藤 沢治	東3線東3号北	"	40	加藤 豊	羽広 仁吉	"
23	"	谷 豊次郎	東4線西中3号南	"	5	"	不詳	"
24	"	平野コヨノ	"	"	5	"	"	"
25	"	小笠原新介	"	"	30	"	"	"
26	"	秋葉	東4線西中4号北	"	20	"	羽広 仁吉	"
27	"	西山	東4線西中4号南	"	18	"	不詳	"
28	"	三好 甚松	東4線西中4-5号間	"	20	"	"	"
29	"	小笠原丑治	東4線西5号南	"	30	大木 サア	清水牧場	"
30	豊倉	長野千太郎	東5線東6号南	昭2~10	45	菅原 政信	石田喜四郎	"
31	"	長谷 重市	東5線東7号北	"	45	"	長谷 重市	"
32	"	萩野	東5線東7号南	"	45	"	萩野	"
33	"	小笠原勘太郎	東5線東8号北	"	45	"	三井農林	"
34	"	新名 好雄	東5線西6号北	"	45	"	新名 好雄	"
35	"	大谷	東4線東6号北	"	45	"	堺谷定次郎	"
36	"	長野 栄	東5線西6号南	"	45	"	"	"
37	"	大山 清市	東4線東6号南	"	45	"	大山 清市	"
38	"	長野 義信	東5線西6-7号間	"	45	"	堺谷定次郎	"
39	"	西村 要	東4線東6-7号間	"	45	"	西村 要	"
40	"	汲田 久平	東5線西7号北	"	45	"	汲田 久平	"

番号	地 区	耕作者名	線 ・ 号	年 代	反別	証 言 者	土地所有者	備 考
41	豊 倉	佐々木	東4線東7号北	昭 ₂ ~10	45 _反	菅原 政信	羽広 仁吉	幾品川
42	"	小林重五郎	東5線西7号南	"	45	"	大橋写真館	"
43	"	木村	東4線東7号南	"	45	"	不 詳	"
44	"	本間	東4線東7-8号間	"	30	"	"	"
45	"	不 明	東5線西8号北	"	40	"	不 明	"
46	"	細谷 留蔵	東5線東8号北	"	35	"	"	"
47	"	山本喜三郎	東4線西6号北	"	45	"	山本喜三郎	"
48	"	森実栄次郎	東3線東6号北	"	10	"	森実栄次郎	"
49	"	不 詳	東4線西6号南	"	45	"	三井農林	"
50	"	丸子 忠助	東3線東6号南	"	45	"	羽広 仁吉	"
51	"	小田	東4線西6-7号間	"	45	"	小田	"
52	"	菊地政之助	東3線東6-7号間	"	45	"	羽広 仁吉	"
53	"	通い作	東4線西7号北	"	45	"	"	"
54	"	平林	東3線東7号北	"	45	"	"	"
55	"	小野寺 原広	東4線西7号南	"	20 20	"	不 詳	"
56	"	菅原信次郎	東3線東7号南	"	30	"	"	"
57	"	牧	東4線西7-8号間	"	30	"	牧 包松	"
58	"	水上	東3線西6号北	"	20	"	三井農林	"
59	"	佐々木与一郎	東5線東8号南	"	30	"	佐々木与一郎	"
60	"	山村	東5線東9号北	"	30	"	不 明	"
61	"	花洲	東5線西8-9号間	"	35	"	花洲	"
62	"	小林	東4線東8-9号間	"	20	"	"	"
63	"	不 明	東5線西9号北	"	10	"	不 明	"
64	"	江刺米五郎	東4線東9号南	昭 ₄ ~7	15	泉 二三	三井農林	駅鈴川
65	"	佐藤 広記	東5線西10号北	昭 ₄ ~8	20	"	佐藤 広記	"
66	"	佐藤 留蔵	東4線東9-10号間	"	20	"	佐藤 留蔵	"
67	"	遠藤庄五郎	東4線西9号北	昭 ₄ ~7	15	"	三井農林	"
68	"	千島	東4線西9号南	"	5	"	川畑喜四郎	"
69	"	波多野又蔵	東3線東9号南	"	25	"	"	"
70	"	泉 金蔵	東3線東9-10号間	昭 ₄ ~10	15	"	泉 金蔵	"
71	"	長尾	東3線西9-10号間	昭 ₄ ~8	15	"	久保	"
72	"	千葉 末吉	東4線東10号南	"	20	"	不 詳	"
73	"	清水	東4線西10号南	"	20	"	"	"
74	"	名取	東4線西10号南	"	20	"	"	"
75	"	千葉 留	東3線東10号南	"	5	"	千葉 留	"
76	豊倉・文光	加藤 精一	東3線東1-2号間	昭 ₃ ~10	25	加藤 豊	三井農林	サラバ川
77	"	狩野 光太	東3線東2号北	"	15	"	"	"
78	"	小野 奨造	東3線東2号南	"	40	"	小野 奨造	"
79	"	石崎富次郎	東3線東3号北	"	35	"	三井農林	"
80	"	加藤 精一	東3線西1-2号間	"	35	"	"	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
81	豊倉・文光	小山内由吉	東2線東1-2号間	昭 3~10	30 ^反	赤坂今朝蔵	三井農林	サラバ川
82	"	武山清一郎	東2線東2号北	"	35	"	"	"
83	"	田畑	東2線東2号南	"	30	"	"	"
84	"	門馬いない	東3線西3号北	"	22	"	"	"
85	"	大槻	東3線西3号北	"	20	"	"	"
86	"	佐藤	東3線西3号北中	"	20	"	"	"
87	"	佐藤 綱吉	東2線東中3号北	"	20	"	"	"
88	"	木村安太郎	東2線東3号北	"	30	"	"	"
89	"	城戸口清三郎	東2線東3号北	"	45	"	"	"
90	"	武山 清作	東3線西3号南	"	40	"	"	"
91	"	後藤	東3線西中	"	40	"	"	"
92	"	木村安太郎	東2線東3号南中	"	40	"	"	"
93	"	山本龜次郎	東2線東3号南	"	40	"	"	"
94	"	林	東3線西4号北	"	13	"	"	"
95	"	糸川	"	"	13	"	"	"
96	"	塚本	"	"	15	"	"	"
97	"	堀川 正一	東2線東4号北	"	38	"	"	"
98	"	森	東3線西4号南	"	20	"	"	"
99	"	飛世 庄七	"	"	20	"	"	"
100	"	氏家 林蔵	東2線東4号南	"	20	"	"	"
101	"	赤間	東2線東4号南	"	20	"	"	"
102	"	中村嘉左エ門	東3線西4-5号間	"	25	"	"	"
103	"	"	東2線東4号南	"	30	"	"	"
104	"	小野寺	東3線西5号北	"	20	"	"	"
105	"	古屋	東2線東5号北	"	38	"	"	"
106	"	熊谷 分家	東2線東5号南	"	38	"	"	"
107	"	元木 善蔵	東2線西1号南	大昭 13~20	40	"	元木 善蔵	"
108	"	松浦藤太郎	東1線東1号南	昭 3~10	30	"	三井農林	"
109	"	今内 七蔵	東2線西1-2号間	"	22	"	"	"
110	"	赤坂今朝蔵	東2線西1-2号間	"	22	"	"	"
111	"	石川 頼道	東2線西2号北	"	23	"	"	"
112	"	赤坂今朝蔵	"	"	20	"	"	"
113	"	斉藤 又二	東1線東2号北	"	23	"	"	"
114	"	佐藤 綱吉	東2線西2号南	"	22	"	"	"
115	"	今野 勝	"	"	22	"	"	"
116	"	高橋 義晴	東1線東2号南中	"	20	"	"	"
117	"	赤坂今朝蔵	東1線東2号南	"	20	"	"	"
118	"	稲川 三郎	東2線西2-3号間	"	45	"	"	"
119	"	荻野好次郎	東2線西3号北	"	40	"	"	"
120	"	大込	東1線東3号北	"	35	"	"	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
121	豊倉・文光	琵琶木	東1線東3号北	昭 3~10	20 反	赤坂今朝蔵	三井農林	サラバ川
122	"	白木	"	"	20	"	"	"
123	"	白木	東1線東3号南	"	16	"	"	"
124	"	琵琶瀬	"	"	13	"	"	"
125	"	大込	"	"	10	"	"	"
126	"	稲川千代治	東1線東中3号南	"	13	"	"	"
127	"	稲川 三郎	"	"	15	"	"	"
128	"	高橋 義晴	"	"	14	"	"	"
129	"	中川	東2線西4号北	"	40	"	"	"
130	"	斉藤 又一	東1線東4号北	"	35	"	"	"
131	"	岡田 健助	東2線西4号南	"	40	"	"	"
132	"	長谷川	東1線東4号南	"	45	"	"	"
133	"	今野由之助	東2線西4-5号間	"	40	"	"	"
134	"	糸川	東1線東4-5号間	"	40	"	"	"
135	"	深瀬徳太郎	東2線西5号北	"	40	"	"	"
136	"	田中	東1線東5号北	"	30	"	"	"
137	"	佐藤 太郎	東2線西5号南	"	35	"	"	"
138	"	中川 耕作	東1線東5号南	"	25	"	"	"
139	"	熊谷 本家	"	大昭 13~10	25	"	"	"
140	"	田中 耕二	東1線西2号北	大昭 13~20	30	"	"	"
141	"	三宅	基線東2号北	昭 3~10	20	"	"	"
142	"	城戸口源六	東1線西2号南	"	35	"	"	"
143	"	田渕喜平治	基線東2号南	"	20	"	"	"
144	"	小川	"	"	20	"	"	"
145	"	元木 善蔵	東1線西3号北	大昭 13~20	45	"	元木 善蔵	"
146	"	和知 留吉	"	昭 3~10	23	"	和知 留吉	"
147	"	山崎 半二	"	"	20	"	三井農林	"
148	"	田渕喜平治	基線東3号北	"	40	"	"	"
149	"	竹内	"	"	40	"	"	"
150	"	橋本	東1線西3号南	"	15	"	"	"
151	"	"	"	"	15	"	"	"
152	"	南出	"	"	15	"	"	"
153	"	工藤	"	"	20	"	"	"
154	"	武山 友松	"	"	22	"	"	"
155	"	寺井 清	基線東3号南	"	20	"	寺井 清	"
156	"	青木 勇吉	基線西中3号南	"	25	外川喜代一	吉倉 要造	"
157	"	吉倉 要造	"	"	35	赤坂今朝蔵	"	斜里川
158	"	南出	東1線西4号北	"	20	"	三井農林	サラバ川
159	"	武山 友松	"	"	20	"	"	"
160	"	吉倉 要造	基線東4号北	"	35	"	吉倉 要造	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
161	豊倉・文光	鈴木善五郎	基線東4号南	昭3~10年	反45	赤坂今朝蔵	三井農林	サラバ川
162	"	田中	東1線西5号北	"	30	"	田中	"
163	"	千島 伝七	基線東5号北	大昭13~10	40	北見市村上 義雄	千島 伝七	"
164	"	青木卯之吉	東1線西5号南	昭3~10	45	赤坂今朝蔵	網走市吉野恒三郎	"
165	"	村上由五郎	基線東5号北	大昭13~10	35	北見市村上 義雄	村上由五郎	"
166	"	小川	基線西2号南	昭3~10	20	赤坂今朝蔵	三井農林	"
167	"	久保忠太郎	基線西3号北	"	35	"	久保忠太郎	"
168	"	"	基線西中3号北	"	25	"	"	"
169	"	太田喜平治	基線西3号南	"	30	外川喜代一	"	斜里川
170	"	"	基線西中3号南	"	35	"	"	"
171	"	外川弥兵衛	基線東4号北	"	50	"	吉倉 要造	"
172	"	法量猪之松	基線西4号南	"	45	"	有坂 克己	"
173	"	井上	基線西4-5号間	大昭13~10	45	村上 義雄	井上	サラバ川
174	"	川村 惣三	基線西5号北	昭3~10	45	"	川村 惣三	"
175	"	村上由五郎	基線西5号北	大昭13~10	35	"	村上由五郎	"
176	中斜里	神田	東3線西6号北	昭2~10	10	森野 操	三井農林	"
177	"	北村鉄次郎	東2線東6号北	"	15	"	"	"
178	"	米山	東2線東6-7号間	"	20	"	"	"
179	"	森野 操	"	"	25	"	"	"
180	"	和田	東3線西7号北	"	15	"	"	"
181	"	伊藤長太郎	東2線東7号北	"	10	"	"	"
182	"	小原 円平	"	"	20	"	"	"
183	"	森野 操	"	"	15	"	"	"
184	"	前中 一郎	東2線東7号南	"	35	"	"	"
185	"	北村鉄次郎	東2線西6号北	"	40	"	"	"
186	"	土屋 庸三	東1線東6号北	"	40	"	"	"
187	"	前田	東2線西6号南	"	35	"	"	"
188	"	板垣	東1線東6号南	"	20	"	"	"
189	"	土屋 真一	"	"	20	"	"	"
190	"	西尾	東2線西6-7号間	"	30	"	"	"
191	"	小山内由吉	東1線東6-7号間	"	20	"	"	"
192	"	若木 兵七	東2線西7号北	"	20	"	"	"
193	"	不 詳	"	"	15	"	"	"
194	"	斉藤 力蔵	東1線東7号北	"	30	"	斉藤 力蔵	"
195	"	富樫 守作	東2線西7号南	"	40	"	三井農林	"
196	"	門間 清人	東1線東7号南	"	15	門間 清人	斉藤 力蔵	"
197	"	前中 一郎	東1線東7-8号間	"	25	森野 操	三井農林	"
198	"	前山長之助	東1線西6号北下	昭2~9	50	村上 義雄	前上長之助	"
199	"	小路栄三郎	基線東5-6号間	"	70	"	小路栄三郎	"
200	"	及川 挿	東1線西6号南	"	25	"	及川 挿	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
201	中斜里	及川 直	東1線西6号南	昭2~9年	25 ^反	村上 義雄	及川 直	サラバ川
202	"	水島寒之丞	東1線西6-7号間	"	50	"	水島寒之丞	"
203	"	水島喜三郎	基線東6-7号間	"	50	"	水島喜三郎	"
204	"	加藤	東1線西7号北	"	50	"	加藤	"
205	"	水島 一蔵	基線東7号北	"	50	"	水島 一蔵	"
206	"	高野竹次郎	東1線西7号南	大昭 12~9	70	"	高野竹次郎	"
207	"	石川 猿松	基線東7号南	"	70	"	石川 猿松	"
208	"	土屋 金樹	基線西6号北	昭2~9	70	"	土屋 金樹	"
209	"	土屋 庸蔵	基線東6号南北	"	50	"	土屋 庸蔵	"
210	"	岡田	基線西7号北	大昭 12~9	70	"	岡田	"
211	"	和田	東3線西6-7号間	昭2~10	35	斉藤 照美	三井農林	猿間川
212	"	小原留次郎	"	"	50	"	"	"
213	"	武山 忠行	東2線東8号北	"	40	中村 真雄	"	"
214	"	塩野吉之助	"	"	20	小野 正宣	"	"
215	"	"	東3線東西8号南北	"	50	中村 真雄	"	"
216	"	本間	東2線東8-9号間	"	50	"	"	"
217	"	石沢 忠成	"	"	50	小野 正宣	"	"
218	"	園木	"	"	50	"	"	"
219	"	中村嘉左門	東3線東西9号北	"	80	中村 真雄	"	"
220	"	塩野吉之助	東2線東9号北	"	30	小野 正宣	"	"
221	"	波多野又蔵	東3線西9号南	"	25	中村 真雄	高松 保則	"
222	"	越中 嘉市	東2線東9-10号間	"	60	"	越中 嘉市	"
223	"	林	東2線西8号北	"	25	斉藤 照美	三井農林	"
224	"	富樫 盛作	"	"	20	"	"	"
225	"	斉藤 照美	東1線東8号北	"	60	"	"	"
226	"	佐々木アキ	東1線東8号南	"	40	中村 真雄	"	"
227	"	日笠 龜市	東1線東8-9号間	"	50	斉藤 照美	"	"
228	"	小泉	"	"	20	小野 正宣	"	"
229	"	塩野吉之助	東2線西9号北	"	30	"	塩野吉之助	"
230	"	神前 兼吉	東2線西9-10号間	"	100	"	神前 兼吉	"
231	"	小野 奨平	東1線東9号,10号南	"	30 20	"	川畑喜四郎 小野 奨平	"
232	"	氏家 林三	東1線東9-10号間	"	80	"	川畑喜四郎	"
233	"	山端喜代七	東1線東10号南	"	70	"	山端喜代七	"
234	"	篠田 由勝	東1線東11号北	"	60	"	篠田 由勝	"
235	"	遠藤庄三郎	東1線西10号北	"	60	"	川畑喜四郎	"
236	"	我妻軍三郎	基線東10号北	"	70	"	"	"
237	"	伊藤長太郎	基線西10号南	"	70	"	伊藤長太郎	"

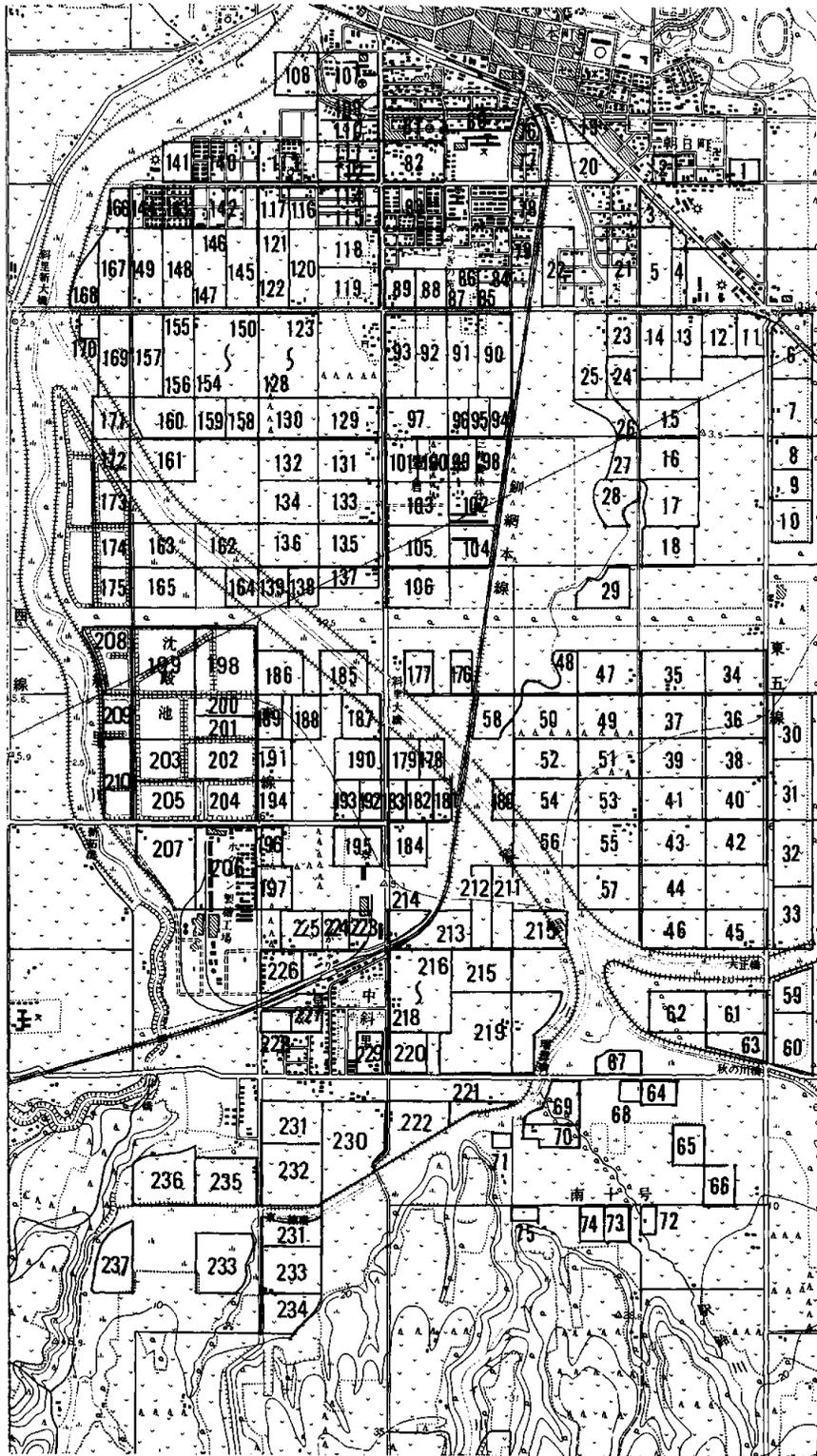


図-4 豊倉・中斜里・西以久科地区水田分布図

表-5 美咲・川上・大栄地区水田耕作者一覧

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
1	美咲3号北	小沼 敏晃	基線西1線東1号北	昭6~10年	25 ^反	小沼 敏晃	須藤 忠信	ポンプアップ
2	"	秋山伝四郎	基線西1号北	5~12	40	"	秋山ふじの	"
3	"	山下 伊蔵	基線西1号南	6~8	43	"	久保繁太郎	斜里川
4	"	小沼源一郎	西1線東1号南	5~10	45	"	小野寺源太郎	"
5	"	宮内 善位	西1線東1-2号間	6~7	45	"	宮内 善位	"
6	"	宮内有五郎	西1線東2号北	"	40	"	宮内有五郎	"
7	"	太田 政志	西1線東2号南	8~10	40	"	平田 久治	"
8	"	渡辺 広治	西1線東3号北	"	45	"	渡辺 広治	"
9	"	三川	西1線西1号南	6~8	45	"	和知 留作	"
10	"	小沼 敏晃	西2線東1号南	5~10	45	"	有坂 正巳	"
11	"	佐藤伊七郎	西1線西1-2号間	6~10	45	"	佐藤伊七郎	"
12	"	小沼 敏晃	西2線東1-2号間	"	45	"	不 明	"
13	"	佐藤伊七郎	西1線西2号北	8~10	45	今野 正	佐藤伊太郎	"
14	"	今野 勇	西2線東2号北	"	45	小沼 敏晃	渡辺 広治	"
15	"	高橋 国治	西1線西2号南	"	40	"	高橋 国治	"
16	"	高橋敬三郎	西2線東2号南	"	45	"	高橋敬三郎	"
17	"	田中 政市	西1線西中3号北	"	45	"	大山清太郎	"
18	"	島津 哲男	西2線東3号北	"	45	"	島津 哲男	"
19	"	古屋 民雄	西2線東中3号北	"	45	"	大山清太郎	"
20	"	太斉 健治	西3線東2号南	"	45	"	鈴木 幸吉	"
21	"	阿部 勝弥	西2線西3号北	"	45	"	阿部 正志	"
22	"	牛沢 丈夫	西2線西中3号北	"	45	"	"	"
23	"	松原 由	西3線東中3号北	"	45	"	上田 清二	"
24	"	熊谷己之助	西3線東3号北	"	45	"	熊谷己之助	"
25	"	佐藤勘四郎	西3線西2号南	"	40	"	松原 由	"
26	"	神威 三次	西4線東2号南	"	40	"	佐藤 勘七	"
27	"	佐藤勘四郎	西3線西3号北	"	45	"	佐藤 藤夫	"
28	"	佐藤喜四郎	西3線西中3号北	"	45	"	佐藤喜四郎	"
29	"	杉本 成雄	西4線東中3号北	"	45	"	杉本 成雄	"
30	"	"	西4線東3号北	"	45	"	"	"
31	美咲3号南	佐藤 捨松	西1線東3号南	昭7~10	9	石川 頼道	佐藤 捨松	"
32	"	"	西1線西3号南	"	35	"	"	"
33	"	太田富次郎	西1線西中3号南	"	35	"	"	"
34	"	山崎 文治	西2線東中3号南	"	33	"	不 明	"
35	"	島津 哲雄	西線東3号南	"	30	"	島津 哲雄	"
36	"	森屋 某	西1線西4号北	"	40	"	木下 忠平	"
37	"	中村清太郎	西2線東4号北	"	36	"	"	"
38	"	阿部喜代治	西2線西3号南	"	16	"	阿部喜代治	"
39	"	"	西2線西中東3号南	"	16	"	"	"
40	"	島津 清司	西2線西中西3号南	"	13	"	島津 清司	"

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
41	美咲3号南	松原 権蔵	西3線東中3号南	昭7~10	反36	石川 頼道	松原 権蔵	斜里川
42	"	竹中 八郎	西3線東3号南	"	30	"	竹中 八郎	"
43	"	佐藤 勘七	西2線西4号北	"	38	"	佐藤 勘七	"
44	"	中島栄之進	西3線東4号北	"	20	"	中島栄之進	"
45	"	横山太八郎	西3線東4号南	"	32	"	横山太八郎	"
46	"	赤岡 亀一	西3線東4-5号間	"	44	"	元木 善蔵	"
47	"	山下由太郎	西3線東5号北	"	45	"	"	"
48	"	赤岡 伊平	西3線東5号南	"	45	"	"	"
49	"	橋本長兵衛	西3線西3号南	"	16	"	橋本長兵衛	"
50	"	阿部 勅夫	西3線西中3号南	"	10	"	島津 篤治	"
51	"	和田亀之助	西4線東中3号南	"	40	"	和田亀之助	"
52	"	橋本 源蔵	西3線西4号北	"	20	"	橋本 源蔵	"
53	"	阿部 勅夫	西4線東4号北	"	16	"	阿部 勅夫	"
54	"	佐藤勘右エ門	西3線西4号南	"	18	"	佐藤勘右エ門	"
55	"	不 明	西4線東4号南	"	12	"	鳥居 某	"
56	"	竹内清太郎	西4線東4-5号間	"	35	"	竹内清太郎	"
57	"	熊谷 藤助	西3線西4-5号間	"	19	"	熊谷 藤助	"
58	"	石川 忠蔵	西3線西5号北	"	40	"	石井 忠蔵	"
59	"	大込 八郎	西3線西5号南	"	45	"	元木 善蔵	"
60	"	瀬川 徳治	西5線東3号南	"	19	"	加藤 精一	"
61	"	及川 福蔵	西5線東3号南	"	20	"	"	"
62	"	渡辺 広治	西4線西4号北	"	15	"	渡辺 広治	"
63	"	中川 吉六	西5線東4号北	"	45	"	中川 吉六	"
64	"	"	西5線東4号南	"	12	"	"	"
65	"	高橋 惣蔵	西4線西5号北	"	3	"	山鹿松太郎	"
66	"	井沢 孝治	西4線西5号南	"	5	"	井沢 孝治	"
67	"	佐藤 三郎	西5線西3号南	"	20	"	佐藤 三郎	"
68	"	新沼 弟	西5線西4号北	"	20	"	不 明	"
69	"	新沼由太郎	西5線西4号南	"	45	"	馬場与次郎	"
70	"	佐々木長吉	西6線東4号南	"	12	"	佐々木長吉	"
71	川 上	杵淵健次郎	西1線東6-7号間	昭6~9	45	杵淵 はる	杵淵健次郎	斜里川2期線
72	"	辻内 巖	西1線東7号北	"	25	大野 せき	辻内 巖	" "
73	"	杵淵 政雄	基線西8号南	昭9~10	45	安藤 庄作	杵淵 政雄	" 1期線
74	"	三宅 藤太	西1線東8号南	"	40	三宅美津子	三宅 藤太	" "
75	"	安藤 庄作	基線西8-9号間	"	30	安藤 庄作	安藤 庄作	" "
76	"	橋本 永房	西1線西5号南	昭6~9	35	中村 隆治	橋本 永房	" 2期線
77	"	吉野晴三郎	西1線西6号北	昭6~8	15	富永チャウ	吉野晴三郎	" "
78	"	鈴木善五郎	西1線西6号南	昭9~10	25	"	鈴木善五郎	" "
79	"	杵淵健次郎	西1線西6-7号間	昭6~9	25	杵淵 はる	杵淵健次郎	" "
80	"	富永 栄吉	西1線西6-7号間	"	20	富永チャウ	富永 栄吉	" "

番号	地区	耕作者名	線・号	年代	反別	証言者	土地所有者	備考
81	川上	大野安次郎	西1線西7号北	昭9~10年	46反	大野 せき	大野安次郎	斜里川2期線
82	"	大野 幸雄	西1線西7号南	"	35	"	大野 幸雄	" 1期線
83	"	佐藤火雄勝	西2線東7-8号間	"	35	"	佐藤火雄勝	" "
84	"	荒木 弥市	西2線東8号北	"	30	"	荒木 弥市	" "
85	"	大町彦三郎	西1線西8-9号間	"	45	山下喜之助	大町彦三郎	" "
86	"	山下与一郎	西2線東8-9号間	"	42	"	山下与一郎	" "
87	"	森 又一	西2線東9号北	"	47	森 つね	森 又一	" "
88	"	杵淵 正吾	西2線西7号南	"	45	杵淵 ハル	杵淵 正吾	" "
89	"	東條 東蔵	西2線西7-8号間	"	45	東條 実	東條 東蔵	" "
90	"	田畑 浜吉	西3線東8号南	"	45	竹内 みつ	田畑 浜吉	" "
91	"	金村 禪定	西2線西9号北	"	75	金村 光孝	金村 禪定	" "
92	"	川人 仲平	西2線西9号南	"	45	田中 文雄	川人 仲平	" "
93	"	田中 文雄	西2線西9-10号間	昭6~9	39	"	田中 文雄	" "
94	"	川村 文一	西3線東10号北	"	50	"	川村 文一	" "
95	"	大城 元吉	西4線東7号北	昭9~10	46	大城 元吉	大城 元吉	" 2期線
96	"	和田 春松	西3線西7号南	"	25	久保久太郎	和田 春松	" 1期線
97	"	久保忠太郎	西3線西8号北	"	70	"	久保忠太郎	" "
98	"	伊藤長太郎 竹内 正平	西3線西8号南	昭6~8 9~10	45	竹内 みつ	伊藤長太郎 竹内 正平	" "
99	"	川村 文一	西3線西8-9号中間	昭6~9	25	黒宮 義信	川村 文一	" "
100	"	黒宮 新八	西4線東8-9号中間	"	45	"	黒宮 新八	" "
101	"	斉藤 京一	西4線西9号南	昭6~10	30	斉藤 増市	橋本 京一	" "
102	"	太田助次郎	西4線東9-10号中間	昭6~8	75	太田 実男	太田助次郎	" "
103	"	川村 文一	西3線西10号北	昭6~9	16	"	川村 文一	" "
104	"	小椋庄三郎	西4線西8号北	昭9~10	45	小椋 秀雄	小椋庄三郎	" "
105	"	橋本 太助	西4線西9号南	昭6~9	30	斉藤 増市	橋本 太助	" "
106	"	村上 徳蔵	西2線西11-12号中	昭2~9	25	大野 修	村上 徳蔵	ラムイ川
107	大栄	橋本 道一	上斜里原野 西5線東2号南	昭11~12	1.5	橋本 道一	橋本 熊蔵	菴池 溜水
108	"	大西 茂一	上斜里原野 東3線西4号南	昭3~9	8	大西 時雄	大西 茂一	付近の小川

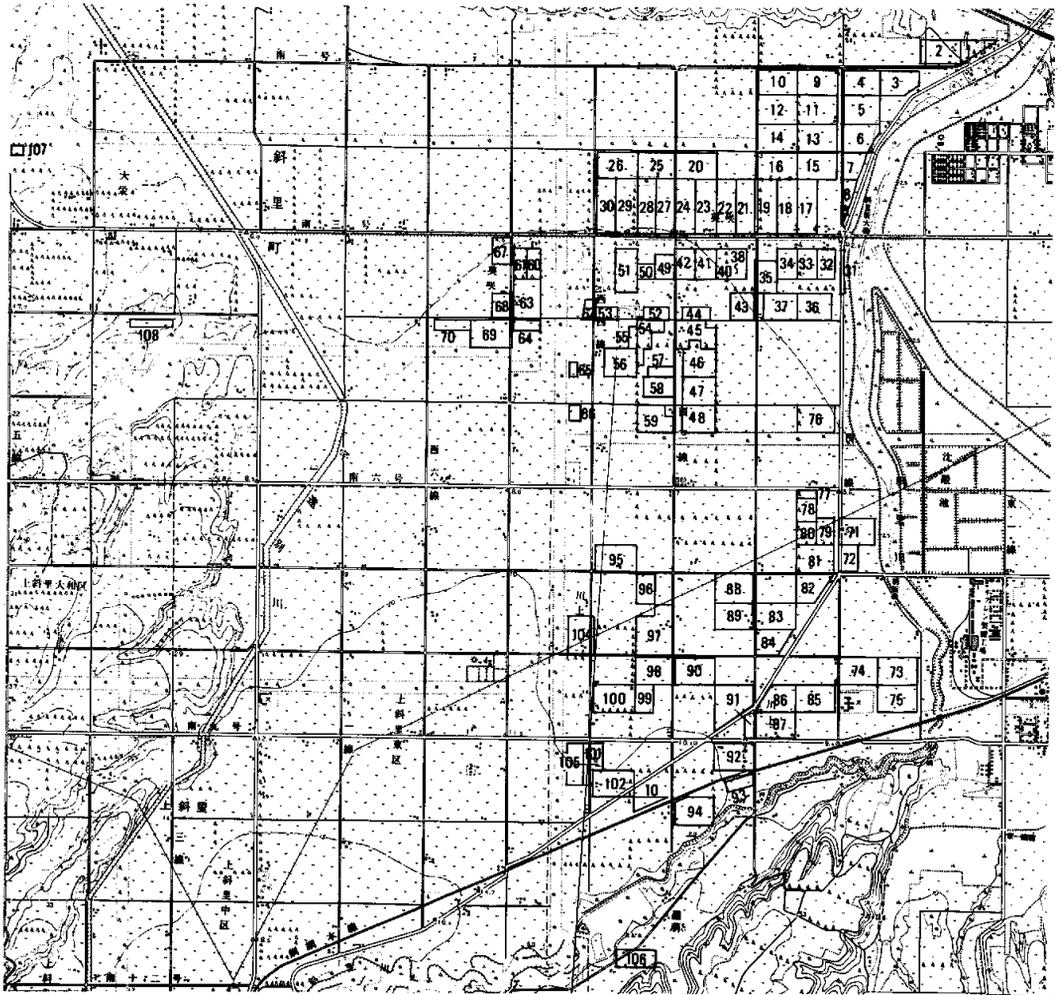


図-5 美咲・川上・大米地区水田分布図



写真-1 昭和11年の収穫風景

(以久科 午来義蔵氏提供)



写真-2 昭和24年 戦後の食糧不足を補うために試験栽培

(以久科 午来義蔵氏提供)